

充電式チェーンソー

取扱説明書

18Vリチウムイオン電池パック

UB18VCBLBP25CG4A



もくじ

安全上のご注意	1～8
各部のなまえとはたらき	9～10
電池パック・充電器 別売品のご案内	11
ご使用前の準備	
電池パックを充電する	12～14
充電器を壁に取付けて使用する	15～16
チェーン刃の取付け・取外し・調整のしかた	17～20
ご使用前の準備	21～24
ご使用方法・作業方法	25～28
電池パック・充電器について	29
お手入れ・保管 チェーンの見立て	30～32
お手入れ・保管	33
故障かな？と思ったときに	34
仕様	35
修理について	36

- このたびはUBERMANN製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、十分ご理解いただいて正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

●いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

※表記内容を見逃して、誤った使い方をしたときに生じる危害や、傷害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることや、可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が傷害を負う可能性及び物質・財産の損害が発生する内容」です。

※なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも安全に関する重大な内容を記載しているので、必ず守ってください。

※お守りいただく内容は下記の図記号で表しています。

 禁止	してはいけない内容です。
 実行	しなければならない内容です。

作業環境に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

 警告	
 禁止	●換気の良くない場所での充電はしないでください。
	●可燃性の液体ガスのある場所で使用したり充電したりしないでください。 ※発熱・発火・発煙・破裂のおそれがあります。
 実行	●作業箇所に電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを十分確認してください。 ※埋設物に触れると感電や漏電、ガス漏れなどの事故につながるおそれがあります。
	●騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い（イヤーマフ）などの防音保護具を着用してください。 ※守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。
	●作業時は保護メガネを使用してください。及び粉塵が多い作業または環境では、防塵マスクを併用してください。 ※守らないと目、喉に傷害を受けることがあります。
	●作業する場所は十分に明るくしてください。 ※暗くて視野が悪いと、事故やけがの原因になります。
	●加工物はしっかりと固定してください。 ※不意に動き、けがをするおそれがあります。安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。
	●作業する場所はキレイに保ってください。 ※散らかった場所部材が散乱していると事故の原因になります。
	●取扱や作業方法、周りの状況などを十分注意して、常識を働かせて作業をしてください。 ※守らないと事故やけがのおそれがあります。

作業環境に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

❗ 実行

- 屋外での作業の場合は、滑らない履物を使用してください。
※守らないと滑ってけがの原因になります。
- 衣服や髪・アクセサリなどが、巻き込まれないような服装で作業してください。
※守らないと回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。長い髪は帽子や、ヘアバンドなどで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどは着用しないでください。
- 高所作業時は、墜落防止用器具を使用してください。
※下に人がいないことを確認してください。守らないと事故のおそれがあります。

⚠ 注意

⊘ 禁止

- 子供の手の届くところに置かないでください。
※事故やトラブルのおそれがあります。
- 子供などの作業員以外を作業場に近づけたり、先端工具や充電器に触れさせたりしないでください。
※けがのおそれがあります。
- 疲れているときは使用しないでください。
※事故やけがのおそれがあります。
- 無理な姿勢での作業はしないでください。
※転倒してけがをするおそれがあります。常に足元をしっかりとらせ、バランスよく作業できるようにしてください。

電池パックに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

⊘ 禁止

- 電池パックは、火中への投入、加熱はしないでください。
- 電池パックの端子部を金属など接続させないでください。
- 電池パックを釘・ネジなどの金属と一緒に持ち込んだり、保管はしないでください。
- 電池パックに釘・ネジなどを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
※漏電や感電などで発火の原因になります。
- 当社充電工具専用の指定の充電式電池パック以外を使用しないでください。
また、改造した電池パックや分解して内蔵部品を交換した電池パックなども使用しないでください。
- 劣化した電池パックは使用しないでください。
※発熱・発火・破裂のおそれがあります。

電池パックに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

⊘ 禁止

- 当社電池パックは、専用充電器以外では充電しないでください。
※電池の液漏れ、発熱・発火・破裂や充電器の故障の原因になります。
- 本体や充電器から外した状態の電池パックは必ず電池パックカバーを取付けてください。
※取付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。
- 電池パックを取付ける前に、スイッチ OFF を確認してください。
※スイッチ ON のままだと事故につながる可能性があります。
- 電池パックは、「UBERMANN」製品以外に取付けしないでください。
- 電池パックを高温場所で充電、使用、保管しないでください。
※電池パックを、周りの温度 50℃ 以上の場所には保管しないでください。
電池パック劣化要因となり、発火、発煙のおそれがあります。
- 電池パックを油・水などの異物が付いた状態で使用しないでください。
※落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油・水などの異物が入ると発熱、発火、破裂のおそれがあります。
- 電池パックを満充電しても、著しく作業時間が短くなった電池パックは使わないで下さい。
- 電池パックが使用中、使用後熱くなることがあります。火傷の原因となるため注意してください。
- 充電中、充電器や電池パックを布やダンボールなどで覆わないでください。

❗ 実行

- 電池の液が漏れたときは素手で触らず、以下の処理をしてください。
※液が目に入ったときは失明のおそれがあります。目をこすらずに、直ちにきれいな水で洗ったあと、医師に相談してください。
※液が身体や衣服に付くと、皮膚の炎症や、けがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師に相談してください。
※液モレした電池パックは、使用を中止し、火に近づかないようにしてください。
すぐに販売店に相談してください。
- 複数の電池パックに渡る連続作業はしないでください。
※本機・電池パックは約 20 分、熱を冷ましてからご使用ください。
- 電池パックは最後までスライドさせ、カチッと音がして外れないことを必ず確認してください。
※守らないと、電池パックが落下し、事故になるおそれがあります。

充電工具及び充電器使用に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

⊘ 禁止	●コンセントや配線器具に定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしないでください。 ※タコ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因になります。
	●電源コードやプラグを破損するようなことはしないでください。
	●さす・破損・加工・無理な曲げ・ねじり・引っ張り・挟み込む・束ねる・熱器具に近づけたりしないでください。 ※傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店に相談してください。
	●直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。
	●本体及び充電器の通気口を塞がないでください。 ※火傷をしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。
	●本体や充電器の通気口から出る熱風を直接肌に当てないでください。
	●作業直後は、先端工具（ビット、チップソー等）やネジ・切りくず・電子端子に触れないでください。 ※高温になっており火傷や切り傷などのおそれがあります。
	●改造や分解をしないでください。 ※火災、感電、けがのおそれがあります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。
	●雨中や、湿ったまたは濡れた場所で、使用したり充電したりしないでください。 ※感電や発煙のおそれがあります。
	●濡れた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししないでください。また、充電器や電池パックも触らないでください。 ※感電のおそれがあります。
! 実行	●使用時以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ※守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
	●本体、充電器を油・水などの異物が付いた状態で使用しないでください。 ※落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油・水などの異物が入ると発熱、発火、破裂のおそれがあります。
	●電源プラグは最後の根元まで確実に差し込んでください。 ※差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。傷んだコードやプラグ、緩んだコンセントなどは、絶対使用しないでください。
	●電源プラグのホコリ等は定期的に除去してください。 ※プラグなどにホコリが溜まると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
	●指定の付属品を利用してください。 ※守らないとけがをするおそれがあります。

充電工具及び充電器使用に関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

❗ 実行

- 使用前に本体、充電器、電池パック、充電器及び先端パーツや、その他の部品が損傷なく正常に作動することを確認してください。
※守らないと破損等によりけがをするおそれがあります。
- 本体が熱くなったら、作業を中断し、温度が下がってから使用してください。
※守らないと火傷をするおそれがあります。
- 屋外で充電するときは、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。また、太さ（導体公称断面積）2.0mm²×長さ10mの延長コードを使用することを推奨します。最高の効率でご使用いただけます。
※守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。
- 使用前にコードの破損がないか点検してから、使用してください。電源プラグを持って抜いてください。
※コードを持って抜くと、破断、感電、ショートの原因になります。
- 使用場面に合った延長コードを使用してください。
- USB端子付きの充電器は、USB端子間をショートさせないでください。
※針金などがUSB端子に入るとショートして発煙、発火のおそれがあります。
- 集じん機能があるものは接続して、使用してください。
※これを使用すれば粉じんの人体への負担を減らせます。
- 安全、効率よく作業いただくため本機は、能力に合った作業に使用してください。
※故障の原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

🚫 禁止

- 本機を50℃以上になる場所に保管しないでください。
※動作異常のおそれがあります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。
※けがや事故のおそれがあります。

充電式チェーンソーに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

⚠ 警告

🚫 禁止

- 本機は、木及び木製品を切断するためのものです。記載されている用途以外に使用しないでください。
※事故や重傷を負う原因になります。
- 下記のような場合は、本機を使用しないでください。
 - ・荒天時、落雷のおそれがあるとき
 - ・雨中、湿気の多い場所
※故障や感電、けがの原因になります。
 - ・急傾斜地や足元が不安定で滑りやすい場所
 - ・夜間や視界が悪い場所
- ガイドバーの先端部での切断はしないでください。
※本機がはね返り（キックバック）けがの原因になります。
- 使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部などに手や顔などを近づけないでください。
※けがの原因になります。
- 使用中、本機の異常音、調子悪化の場合、すぐに電源を切って使用を中止し、お買い上げ販売店にお申しつけください。
※このまま使用していると、けがの原因になります。
- 不安定な姿勢で使用しないでください。（はしごや木に登って作業等）また、肩の高さより高い位置で使用しないでください。
※けがの原因になります。

❗ 実行

- 使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。
※本機がはね返り、けがの原因となります。
- チェーン刃は、取扱説明書に従って正しく取付けてください。
※誤った取付け方をすると、ガイドバーからチェーン刃が外れ、けがの原因になります。
- チェーン刃は、正しく目立てしてください。
※特にデブスゲージの寸法が大きくなりすぎますと、本機のはね返り（キックバック）発生の危険性が高くなります。
- 切断材料は、しっかり固定し使用ください。また、切り落とし材に注意ください。
※けがの原因になります。
- ガイドバー、チェーン刃の取付け、チェーンオイルの自動供給量を調整するときは、必ず本機の電源を切り、バッテリーを取外してから行ってください。
※電源が入ったまま行くと、不意にチェーン刃が回りだすなどして事故の原因になります。

⚠ 注意

- 下記の保護具を着用してください。
 - ・ 頭部保護＝ヘルメット
 - ・ 目や顔の保護＝ゴーグルまたはフェイスシールド
 - ・ 聴力の保護＝耳覆い（イヤーマフ）や耳栓
 - ・ 手を保護＝防振手袋
 - ・ 足の保護＝滑りにくい丈夫な作業靴
 - ・ 脚の保護＝チェーンソー用保護防護ズボン、脚カバー

- 使用しないときは、バッテリーを取外してチェーンブレーキをかけ、ガイドバーにカバーをして刃物がむき出しにならないようにし、お子様の手の届かないところに保管してください。
※けがの原因になります。

- スイッチを入れるとき、チェーン刃が材料やほかのものに当たっていないことを確認してください。
※けがの原因になります。

- 材料に石、釘などの異物が無いことを確認ください。
※チェーン刃が石などに当たると、けがの原因になります。

！ 実行

- 切り落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料に挟み込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設置してください。
※ガイドバーが挟み込まれるとけがの原因になります。

- チェーンカバーを取付けた状態で本機を起動しないでください。

- 本機を作動させたまま床などに放置しないでください。
※事故の原因になります。

- 行政機関では、チェーンソーの1日の使用時間は2時間以内、連続操作時間は10分以内にするよう指導しています。
※作業時間を上手く計画してください。

- チェーン刃を扱うときは手袋を着用してください。
※けがの原因になります。

- 2台以上で作業するときは、安全な距離を確保してください。
※事故の原因になります。

- チェーン刃は、常に良い切れ味のものを使用ください。切れ味の悪くなったチェーン刃は目立て、交換してください。

- 風窓を手でふさいで使用しないでください。右手はトップハンドル、左手はサイドハンドル、それぞれ両手でしっかり握ってください。

充電式チェーンソーに関する安全上のご注意 必ずお守りください。

事業者の方へ

本機を使用して作業者に立ち木の伐木、倒した木の切断する作業を行う場合は、法、規則で定める特別教育を受講させてください。

(関連法令)

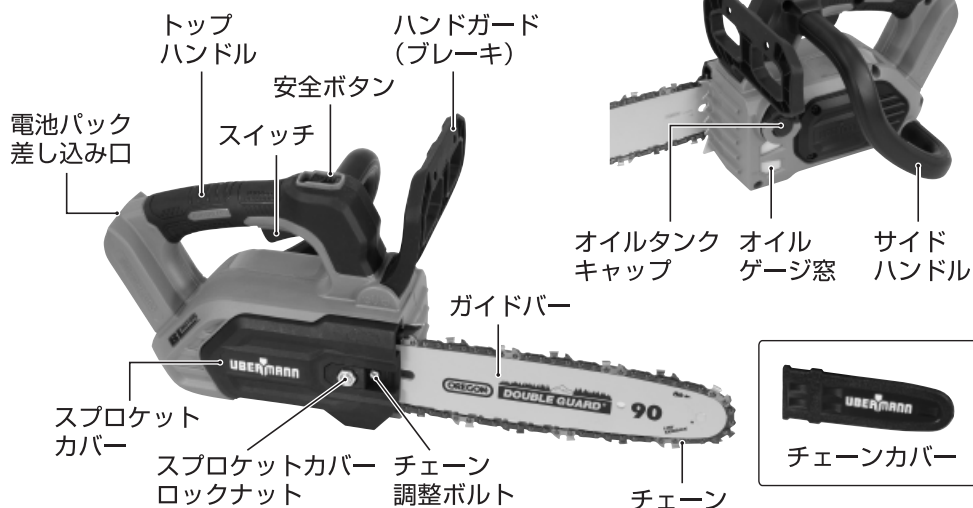
- 労働安全衛生法第59条第3項
(2020年7月30日までは安全衛生特別教育規程は第10条の2労)
- 安全衛生特別教育規程第10条
(2020年7月30日までは労働安全衛生規則第36条第8号及び8号の2)

高所作業時での注意事項

1. 誤操作を防止する安全装置が確実に作動することを、作業前に必ず確認してください。
※事故の原因になります。
2. 両手で前後のハンドルを正しく握り、肘を軽く曲げて作業してください。片手持ち作業、腕を伸ばしてのチェーン操作は行わないでください。
※けがの原因になります。
3. 墜落防止用器具を必ず着用し身体をしっかり固定してください。
※けがや事故の原因になります。
4. 高さが2m以上の場所で、作業を行うときは高所作業用機器を活用して、安定した足場を確保してください。
※けがの原因になります。
5. 作業範囲は、作業者の肩から腰までの高さです。
※それ以外はけがの原因になります。

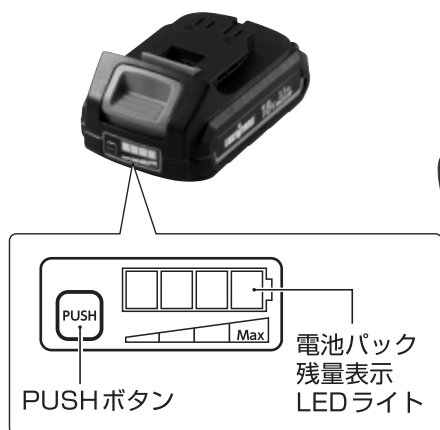
各部のなまえとはたらき

本体 UB18VCBLBFS250



電池パック

【UB18VBP25】



- 電池パックは全て残量表示LEDライト付
- PUSH ボタンで電池電圧が一目で分かる機能付

専用充電器

【UB18VCG4A】



- LED表示ランプによる状況表示

各部のなまえとはたらき

本体【18VCBLBFS250】 付属品・別売品品番

商品名	付属品数	別売品・品番
本体 	セット品 1 個	別売品有 UB18VCBLBFS250
スプロケット カバー 	セット品 1 個	別売品有 UB18VCBL-SP
ガイドバー 250 	セット品 1 個	別売品有 UB18VCBL-GB250
チェーンカバー 	セット品 1 個	別売品有 UB18VCBL-CC250
チェーン 	セット品 1 個	市販品をお買い求めください。 UB18VCBL-CC250 ※90PX040 適合
専用2得レンチ 	セット品 1 個	別売品有 UB18VCBL-WR2
充電器 	セット品 1 個	別売品有 UB18VCG4A
電池パック 	セット品 1 個	別売品有 UB18BP25、UB18BP50
取扱説明書	セット品 1 冊	

電池パック・充電器 別売品のご案内

UBERMANNシリーズ 電池パック

○電池パック 品番：UB18VBP25 (容量2.5Ah)

○電池パック 品番：UB18VBP50 (容量5.0Ah)



UBERMANNシリーズ 専用充電器

○急速充電器 品番：UB18VCG4A



お知らせ

●本機UB18VCBLBFS250には、別売品電池パックがご使用できますが、別売の充電器での充電時間が異なりますのでご承知ください。

充電器UB18VCG4A	電池パック	充電時間(約) 使用後冷ました電池パック	UBシリーズ
//	UB18VBP25	約55分	18V全種 使用可能
//	UB18VBP50	約85分	

ご使用前の準備 電池パックを充電する

充電器の表示ランプの見かた 【UB18VCG4A】

ランプ表示	状態	表示内容	参照
 赤点灯	通電状態	通電表示。(電源に差し込んだ状態です)	P.14
 緑点滅 赤点灯	充電中	電池パックを差し込む。通常充電。	
 緑点灯	充電完了	緑点灯の充電完了(目安)時間は、電池の種類により異なります。 UB18VBP50=約85分 UB18VBP25=約55分	
 緑点滅 赤点滅	電池パック 充電器高温	電池パック・充電器が高温(または氷点下以下の低温)によりできません。 ※電池パック・電池パック・充電器が作動可能な温度になると充電が始まります。	
 赤点滅	電池パック故障	電池パック異常の為、充電できません。新しい電池パックをお買い求めください。	

ご使用前の準備 電池パックを充電する

氷点下での充電について

- 電池パック自体温度が氷点下にあるときは、充電開始になりません。充電目安として、充電器の環境温度が20℃ならば電池パックを約30分以上経過してから充電器に差し込んで充電を行ってください。

充電の前に

- 充電器は0～40℃の場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パックを充電してください。（充電する場所との温度差が15℃以内が良い。）
- 電池パックの温度が0℃以下または充電する場所の温度差が大きい場合は十分に充電できない場合があります。その場で長い時間（1時間以上）放置してから充電してください。（電池パックの表面温度と電池パック内部の温度差があるため）

！ 実行

- 電池パックを2個連続で充電を行う時は、充電を約30分以上休止し、充電器の温度が下がってから充電をしてください。
- 充電器はホコリの多い場所や、水や雨にかかる場所で使用しないでください。故障の原因になります。

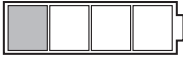
お知らせ

- この説明書に記載の温度は目安です。実際には条件により、多少のずれが生じる場合があります。

電池パック残量表示LEDライトの見かた

【UB18VBP25】【UB18VBP50】

- 電池パックLED正面左の残量確認ボタンを押すと使用前、中、後の電池残量が確認できます。

電池パックLED表示	電池電圧残量目安	充電指示状況
点灯 	75%～99%	作業良好・保管可能
点灯 	50%～75%	作業可
点灯 	25%～50%	充電をしてください
点滅 	0%～25%	作業中止・充電をしてください

- 電池残量表示LEDライトが1灯点滅のまま作動を続けると、電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といえます。

！ 注意

- 電池パックの表示LED点灯数は利用状況や気温などによって実際の表示残量と異なる場合がありますので、目安として参考にしてください。
- 作業開始前後瞬間でもLED残量表示が異なることがありますので、作業前には満充電状態から使用されることを望みます。

ご使用前の準備 電池パックを充電する

充電のしかた

- 1 充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。
LED表示ランプの「赤」が点灯します。



- 2 電池パックを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。

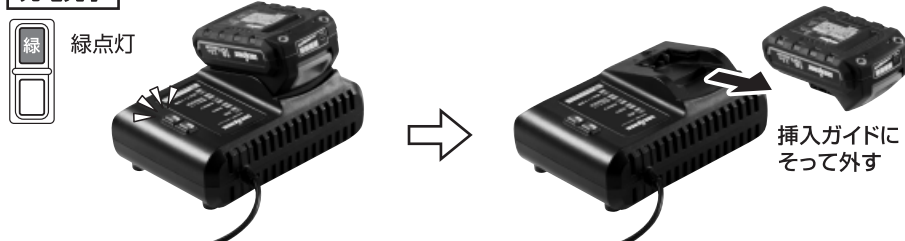


- 3 ①電池パックを挿入するとLED表示ランプの「緑」が点滅し、充電開始します。
②充電が完了すると「緑」が点灯に変わり、充電が完了します。電池パックをすみやかに外してください。
※充電時間は周囲温度（10℃～40℃）や電池パックの状態（新品・長期保存電池パックや寿命に近い電池パックなど）により変動します。
③電池パックを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

LED表示ランプ



充電完了



ご使用前の準備 充電器を壁に取付けて使用する

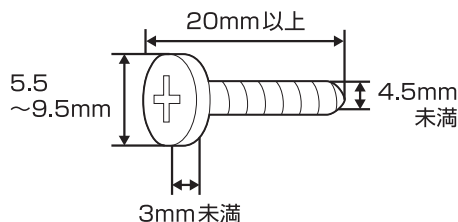
⚠ 注意

- 壁に取付けて使用する場合は、必ず吊り下げ用ネジ2本で本機の裏面のネジ穴に確実に吊り下げてください。
※落下して破損したり、けがの原因になります。
- 充電器の取付け作業をするときは、電池パックを抜き取り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で設置してください。
- 充電器を壁に取付け後は、電池を抜き取るときに充電器が落下することがありますので、必ず充電器上部に固定ネジを打ち込んで、充電器が外れないようにしてください。
- 壁に取付ける場合は、充電器の重さに電池パックの重さが加わり約1.5kgになりますので、取付ける場所が耐荷重に耐えられるか確認し、不足の場合は取付け場所を十分補強してください。
- 壁掛けした充電器に電池パックを充電したり、取外しの際は動作を途中でやめないでください。電池パックが落下したり、充電器が壁より外れたりして危険です。
- 壁取付けのネジは定期的に緩んでいないか、しっかり固定されているか確認してください。

充電器の壁掛けの準備

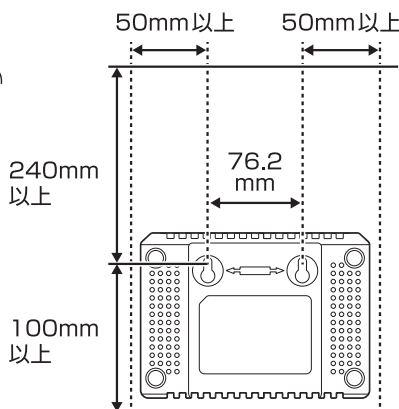
1) 用意するもの(市販品でご用意ください)

- ①木ネジ(吊り下げ用) 4mm×20mm以上=2本
- ②木ネジ(充電器固定ネジ) 4mm×30mm以上

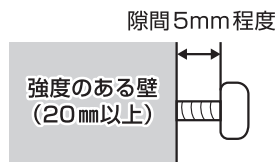


2) 吊り下げ用ネジの取付け

- ①取付けの壁面が凹凸等の障害物がないこと、また壁内や裏に電気配線や通信配線、ガスの配管等がないことを確認してください。



- ②充電器の他電池パックを差し込んでネジが抜けにくい強度のある壁面に取付けてください。

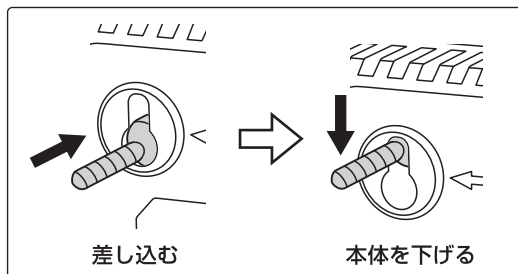


ご使用前の準備 充電器を壁に取付けて使用する

3) 充電器の取付け

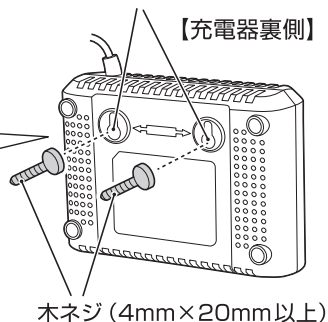
吊り下げ用ネジに本機充電器裏面のネジ穴を2ヶ所あわせて、ネジが穴に入った後に引っ掛けて充電器を下に下げてください。4mm×20mm以上ネジ

※壁面ネジ2個と充電器ネジ穴2個が、引っ掛かっていることを確認してください。



吊り下げ用ネジ穴

【充電器裏側】

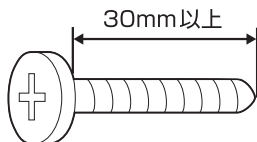


4) 充電器を固定する

充電器がより安全に壁面に固定、保持できるように固定用ネジを図のように締め込んでください。

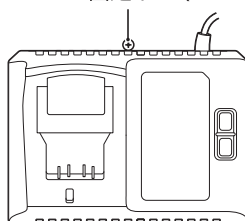
※本機を破損させないようにネジを打ち込んでください。(市販品ネジ)

使用例 4mm×30mm以上ネジ



【充電器表側】

固定ネジ (30mm以上)



5) 充電器の日常点検

①日頃から安全に効率よくお使いいただくために日常定期点検を行ってください。

②充電接続端子等のゴミやホコリの撤去をする。

柔らかいブラシでまたはエアードスターなどを使用して清掃してください。

6) 保管について

- 子供の手の届かない場所、鍵の掛かる場所に保管してください。
- 湿度の高い場所や温度が急変する場所に保管はしないでください。
- 雨水の掛かる場所は絶対に避けて保管してください。
- 直射日光の当たる場所での保管はしないでください。
- 揮発性物質に近い場所に保管しないでください。

ご使用前の準備 チェーン刃の取付け・取外し・調整のしかた

⚠ 警告

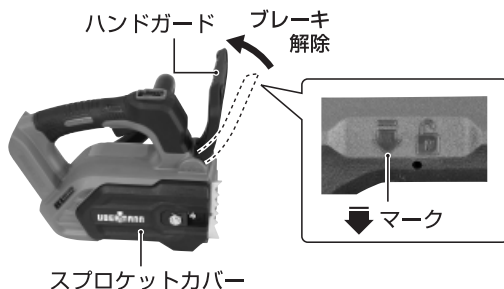
- チェーン刃取付け・取外しや調整の際は、必ず本機より電池パックを取外してから行ってください。
※電池パックが取付けてあると、不意に作動して事故の原因になります。
- チェーン刃の取付け・取外しや調整の際は、必ず手袋をして行ってください。
※チェーン刃でけがの原因になります。
- チェーン刃は、必ず適性の張り具合で調整を行ってください。
※張り方がゆるいと、ガイドバーからチェーン刃が外れ、けがの原因になります。

1 取付けかた

①電池パックを取外してください。

②本機ハンドガード(ブレーキ)を解除できます。

- ・ハンドガードを手前に引いてください。
- ・▼にあわせて引いてください。



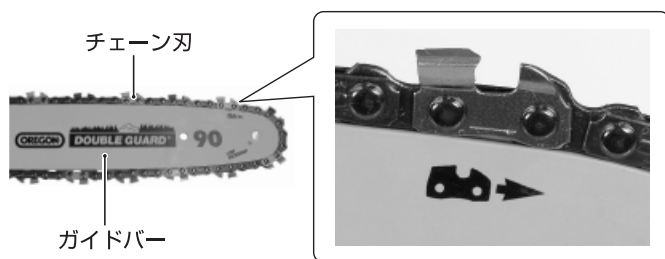
③付属の2得レンチの13mm側で本機のスプロケットカバーロックナットを緩めてください。

- ・時計の逆回し(左巻き)で緩めてカバーを取外してください。
- ・カバーのナットネジはカバー自体より外れません。



④付属のガイドバーを取出し、及び袋内のチェーン刃も取出してください。

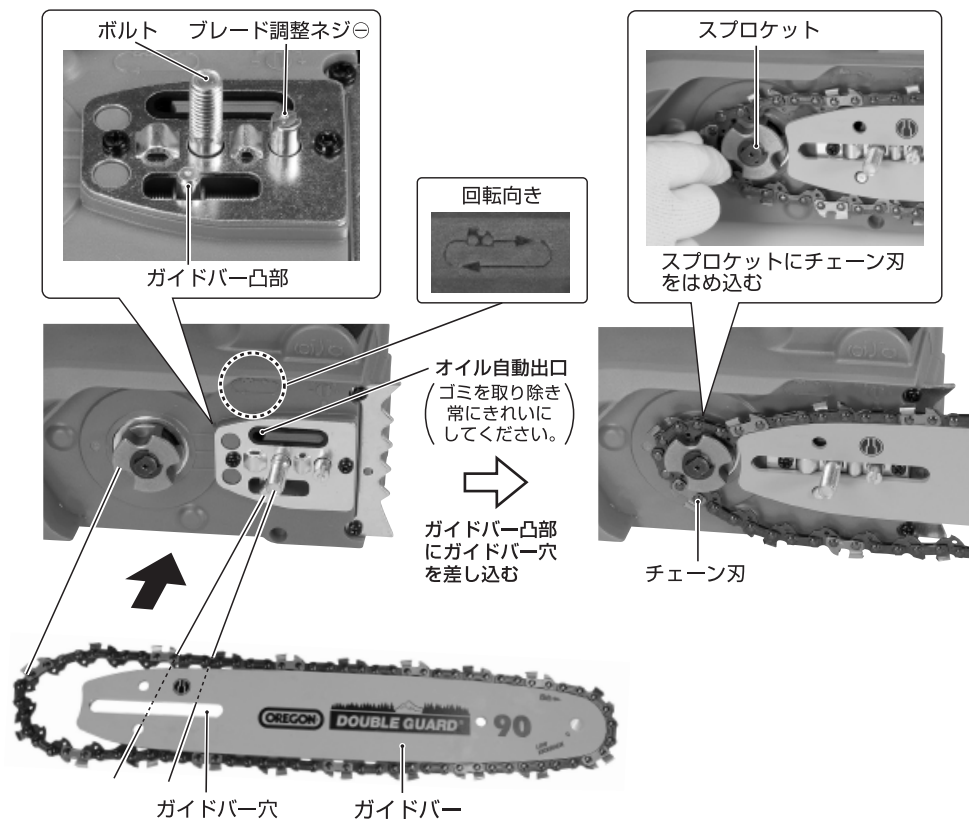
⑤ガイドバーにチェーン刃の向きを合わせてください。



ご使用前の準備 チェーン刃の取付け・取外し・調整のしかた

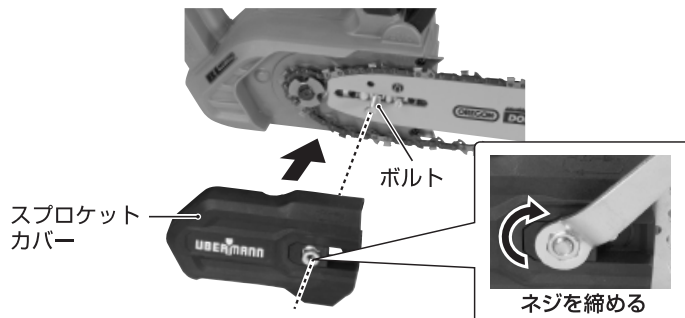
⑥ガイドバーにチェーン刃を掛けながら、本機のスプロケット部に合わせてください。

- ガイドバーの穴に本機凸部ピンを合わせて入れます。
- 図のようにガイドバーとチェーン刃をセットします。



⑦スプロケットにチェーン刃をはめ込んだら、スプロケットカバーをボルトに合わせてカバーをはめ込んでください。

- チェーン刃の回転向きを合わせてください。



ご使用前の準備 チェーン刃の取付け・取外し・調整のしかた

⑧付属の専用2得レンチでチェーン刃張り調整ネジを仮締めしてください。

- 強く締め過ぎると、チェーン刃の調整ができません。

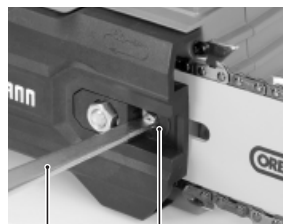
○付属2得レンチの⊖側を利用してチェーン刃張り調整

⑨チェーン刃を適正な張り具合に調整をしてください。

- 張りすぎるとモーターに負荷が掛かり作動しません。
- 緩すぎるとガイドバーからチェーン刃が外れます。

※けがの原因になります。

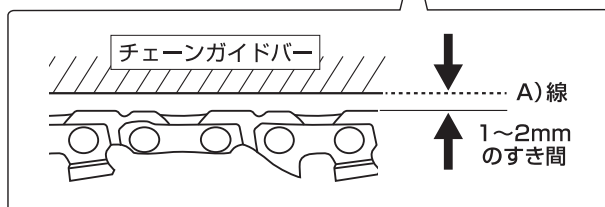
⑩チェーン刃の張り具合が調整完了後スプロケットカバーのチェーン刃張り調整ネジを仮締めから本締めに締め付けてください。



2得レンチ チェーン刃張り調整ネジ

チェーン刃の調整の目安

- チェーンガイドバー下部A) 線に軽く接触する程度に合わせる。
※ガイドバー下A) 線とチェーン刃のすき間は、1～2mm程度に調整してください。
- 新品チェーン刃は伸びやすいので、初期使用時はこまめにチェーンの張り具合を調整してください。



⚠ 注意

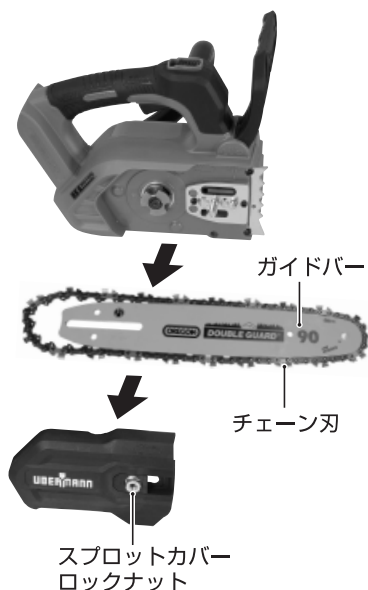
- チェーン刃の張り過ぎはガードバーの摩耗を促進します。またチェーン刃の破損などの原因になります。
※事故の原因になりますのでご注意ください。
- チェーン刃は新品のうちは伸びやすいのでチェーンの張り具合はこまめに調整を行ってください。
- チェーン刃がゆるすぎると、チェーンがガイドバーから外れることがあります。ご注意ください。
- ガイドバーもチェーン刃の張り具合によって摩耗しますので、新品のチェーン刃交換時にガイドバーも反転してご使用ください。

ご使用前の準備 チェーン刃の取付け・取外し・調整のしかた

2 取外し方

○けがをしないように手袋をしてから行ってください。

- ①電池パックを取外してください。
- ②付属の2得レンチでスプロケットカバーロックナットを緩める。
- ③ロックナットが緩んだらカバーを取外してください。
 - ・ナットは緩んでもナット自体は外れない設計です。
- ④ガイドバーにチェーン刃が巻いてある状態で本機より取外してください。
- ⑤ガイドバーからチェーン刃を取外してください。



ご使用前の準備

3 スイッチ操作

- 本機電源スイッチを入れる際は、ハンドガード（ブレーキ）を手前にひいて解除してください。

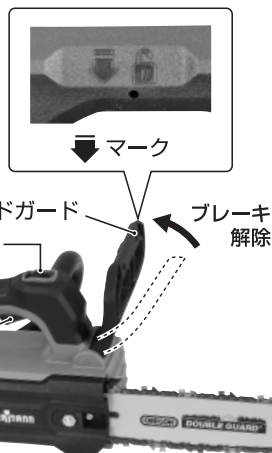
⚠ 注意 実行

ハンドガードブレーキを解除していないと作動はしませんので、解除してあることを必ず確認してください。

- ①本機上部にある安全ボタンを手前に引いてください。

①安全ボタン

②スイッチ



- ②安全ボタンを引いたまま、グリップ下にあるスイッチを握ると本機が作動します。

- ③本機が作動したら、スイッチを握ったまま、安全ボタンを離しても固定され本機の連続作業が可能になります。

- 作動してからスイッチを離すと自動で安全ボタンが初期位置に戻り本機は作動停止し、レバーを引けなくなります。

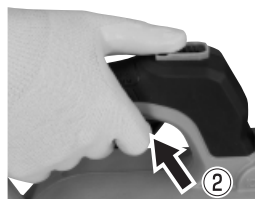
- ④再度作業をする場合は、①・②・③の順を繰り返してください。

- ①～③を行っても作動しない場合は。

- A) 電池安全機能が作動している可能性があります。
(電池パックの充電量が少なくて作動しない機能)
対応 ➡ 充電してください。
- B) 本機と電池パックが完全に差し込まれていないため。



安全ボタンを手前に引いたまま



スイッチを押す

ご使用前の準備

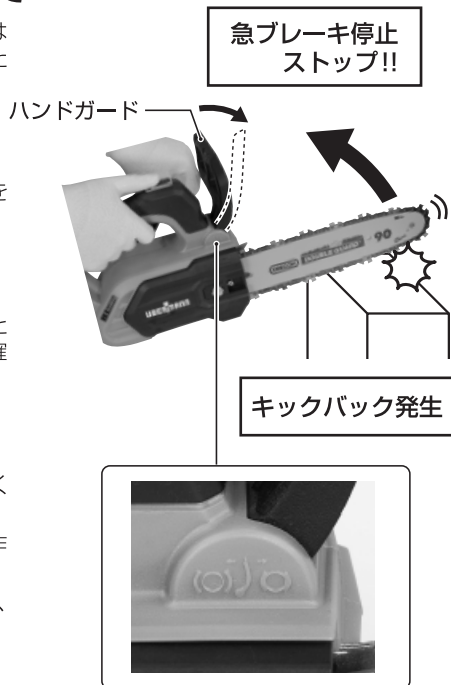
4 ハンドガード(ブレーキ)について

- 本機は万が一、キックバック(本機先端からのね返り)等が生じた場合に、危険を少なくするため、急ブレーキ機能を備えています。

①ハンドガード前方に移動し、同時に急ブレーキを掛けて停止する。

②ハンドガード根元にあるブレーキ解除(○)とブレーキ●マークがありますので、作業前に確認してください。

- 作動時にハンドブレーキが作動するか確認してください。
- 安全の為、ハンドブレーキは必ず解除してから作業を行ってください。
- ハンドブレーキが作動中本機は作動しませんが、故障ではありません。ハンドブレーキを解除しスイッチ操作を正しく行えば作動します。



5 チェーンオイルについて

- 市販品のチェーンオイルをお買い求めください。
- 本機はチェーンオイルが給油された場合は、自動給油されます。
- 作業前にオイルタンク内のチェーンオイル残量を確認してください。
- チェーンオイルの給油をする。



ご使用前の準備

①オイルタンクキャップ赤色部を上押し上げる。

②赤色部押し上げた部分をつまんで

オイルタンク
キャップ赤色部



③時計の逆回しでキャップを外してください。
市販品のチェーンオイルを給油口に注入してください。約40mlです。

- 本機の給油タンク白色部分がオイル給油されると、白色が色濃くなりますので確認してください。

⚠ 注意

- オイル注入時満タンに入れると、キャップを締める際に溢れる恐れがありますので、ご注意ください。
- オイルはキャップ閉めネジ根元部分で満タンですので、それ以上注入すると溢れるおそれがあります。

④注入が完了したら、②の時計回りに回してキャップを閉めてください。



⑤締め終わったら、①のように赤いツマミ部を押し倒してください。



- チェーンオイルはゴミなどの混入物の混じったオイルを使用しないでください。

※故障の原因になります。

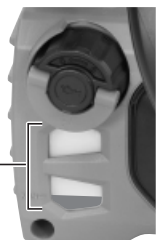
- チェーンオイル以外の揮発性のオイルは絶対に使用しないでください。

※事故の原因になります。



【チェーンオイル残量確認】

チェーンオイル
残量



MIN→最低ライン



白窓の色が濃くなる。



オイル注入はここまで
※入れ過ぎに注意してください。

ご使用前の準備

6 フックについて

○本機にはサイドハンドルの本機後部 1 カ所に金属フックがありますので、引き出してご使用ください。

金属フック



引き出す



7 本機の持ち運びについて

- 本機の持ち運びには、必ず電池パックは取外してください。
- 電池パックには、必ず安全カバーを取付けてください。
- 本機はハンドガードブレーキを掛け、チェーンカバーを被せてください。



ご使用方法・作業方法

⚠ 警告

- 本機の作業中はチェーン刃・ガイドバー部や回転部、切屑などに手や顔などを近づけないでください。
※けがの原因になります。
- 本機作業中は両手でしっかりと確実にハンドルを保持してください。また作業場足元の安定できることを確認してください。
※けがの原因になります。
- 高所の場所や木に登って作業するなどの、不安定な姿勢での使用はしないでください。
※けがの原因になります。
- 本機作業で、ガイドバー先端部で切断をしないでください。また、ガイドバー先端部で枝や地面などに触れさせないように作業を行ってください。
※本製品先端部が跳ね上がりキックバック現象で、事故やけがのおそれがあります。

⚠ 注意

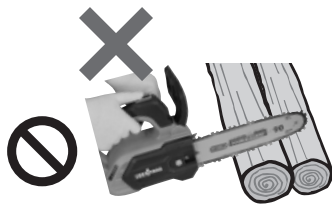
- 複数台での作業を行うときは、十分に安全な距離を開けて行ってください。
※事故の原因になります。

切断材料はしっかりと固定してください

- 固定しないとけがの原因になります。
- ガイドバー先端では切断しないでください。
- 複数の切断を同時に行わないでください。



刃の先端で切断しない



複数の材料を同時に切断しない

【事業者の方へ】

- 樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行うときは、法、規則に定める特別教育を受けた人に行わせてください。
- (関連法令)
- 労働安全衛生法第59条第3項
(2020年7月30日までは安全衛生特別教育規程は第10条の2労)
 - 安全衛生特別教育規程第10条
(2020年7月30日までは労働安全衛生規則第36条第8号及び8号の2)

ご使用方法・作業方法

チェーン刃オイルの潤滑の確認

- 本機ハンドルとトップハンドルをしっかりと両手握り、チェーン刃を材料より少し離して作動してください。
- ガイドバーの先端からチェーンオイルが吐出しているか確認してください。

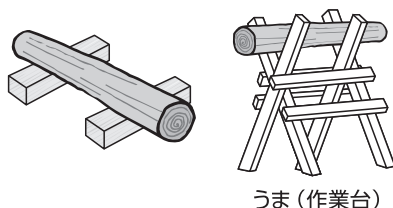
◎チェーンオイルが吐出したら作業はできます。



基本的な作業環境

- 丸太などの切断には、材料が回らないように固定する。
- うま（作業台）などを用いて材料が動かないようにする。

◎材料が固定され安定していれば、作業はできます。



樹木の選定

- 右図のように本機のガイド部を材料に当てて、真下へ押して切断します。チェーン刃の切れ味に合わせて無理に本機に力を入れて切断しないようにしてください。
※無理に押し付けて切断すると、チェーン刃が止まる場合があります。

◎本機の自重で切断するとスムーズに早く切れ、チェーン刃も長持ちします。

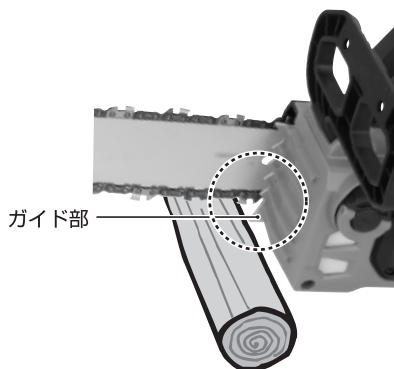
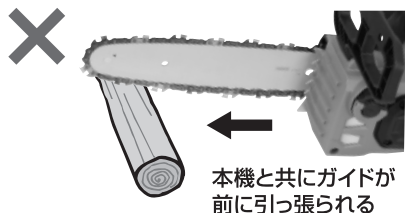
○本機のガイド部を切断部分に軽く押し付け、スイッチを入れ、他の枝からチェーン刃を離して切断してください。



真っすぐ下に自重で切断イメージ

⚠ 注意

- 切断枝が本機のガイド部に接していないと、本機がガイドの先端に引っ張られ、刃先がブレますのでご注意ください。

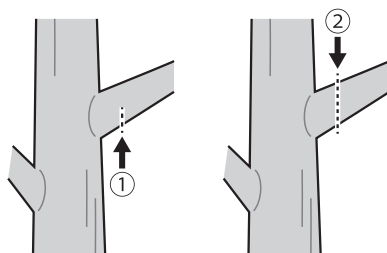


材料を本機ガイド部に合わせて切断する

ご使用方法・作業方法

太い枝の剪定

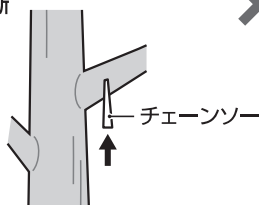
- 太い枝を剪定するときは、①枝の下側に少し切り込みを先に入れてから、②上から枝を切断してください。
- 右図の①を切り過ぎると枝の重みでチェーン刃が挟まれるので注意してください。
- 下側に切り込みを入れないで、上から切断すると途中で枝が裂けて、切り口が乱だつになります。



枝の下に切り込みを入れる

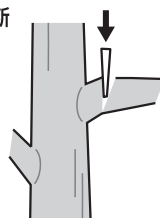
上から切断する

✕ 下側からの切断



チェーン刃が挟まれる

✕ 上側からの切断

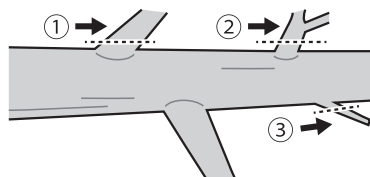


裂ける

枝払い作業

- 倒した樹木の枝払いは、最初に上部側面の枝を一方向より切り落としてください。
- 幹を支えている大きな枝を残して、地面側の枝を下側より切り落としてください。

横たわった樹木



上部側面の枝を一方向より切り落とし
地面側の枝を切り落とす

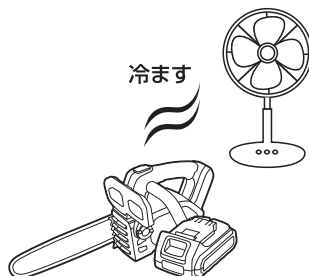
ご使用方法・作業方法

本機および電池パックの保護機能

本機を使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

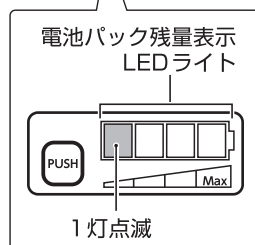
●本機および電池パックの温度が高温になるとモーターが自動停止します。

- ・本機が熱くもなく突然自動停止した時は、電池パックの電池残量が低下し過放電保護装置が働いて停止もします。その場合は直ちに充電を行ってください。
- ・使用を中断して本機より電池パックを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。
- ・電池パックを冷ましても本機が動作しない場合は、本機を冷ましてください。



●電池パックの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。故障ではありません。

- ・本機より電池パックを取りはずし、電池パックを充電してください。
- ・電池自体にも電圧残量表示で確認ができます。
PUSHボタンを押す。
→ LEDライト1個点灯またはLEDライト1個が点滅になります。



【PUSHボタンを押すと】

●電池残量表示LEDも1灯点滅します。

※この状態で作業すると電池パック自体が充放電しなくなり使用できなくなります。過放電状態といえます。作業は中止し、直ぐに充電を行ってください。

●本機が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。

- ・いったんスイッチを放し、本機より電池パックを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

電池パック・充電器について

電池パックについて

- 下記の状態となった場合、特に電池パック寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
 - ・ 高温充電の繰り返し……連続作業後の放電による熱い電池パック充電など。
 - ・ 低温充電の繰り返し……0℃以下からの急な充電など。
 - ・ 満充電電池パックの再充電の繰り返し
 - ・ 過放電の繰り返し（過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です。）

電池パックを長持ちさせるには

- 工具の力が弱くなってきたと感じたら作業を中止して、充電してください。
- 満充電した電池パックを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- 使用直後などの熱くなった電池パックは、充電器に差し込む前に冷却してから充電することをおすすめします。
- 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオン電池パックは満充電してから保管することをおすすめします。
- 冬期間の0℃以下の電池は直ぐに充電せず、少し温めてから充電することをおすすめします。

電池パックのリサイクルについて

- リチウムイオン電池はリサイクル可能な資源です。廃棄の際は下記の手順を参考にして販売店にお持ちください。
- 電池パックの接続端子をショートさせないように、電池安全カバーを付けるか、テープ等で絶縁をする。電池パックは最寄りの販売店かリサイクル協力店にお持ちください。



お手入れ・保管 チェーンの目立て

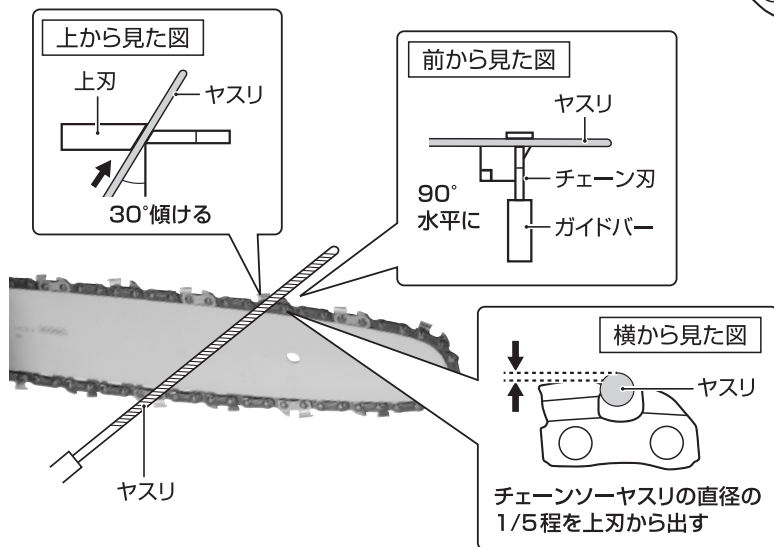
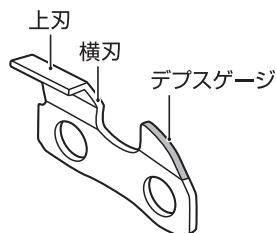
⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換などのお手入れ前には、必ず電池パックを本機より取外して行ってください。
※不意に作動してけがのおそれがあります。
- 日頃の点検をおこない、保管場所が40℃以上になる場所での保管はしないでください。
※電池の寿命を損ねたり、使用できなくなることがあります。
- 本機、各部品を子供の手の届かない場所に置いてください。
※子供が間違って使用したり、飲み込んだりして事故やけがのおそれがあります。
- 点検・日常整備には必ず手袋をはめて行ってください。
※チェーン刃でけがの原因になります。

お手入れのしかた 電池パックは取外す

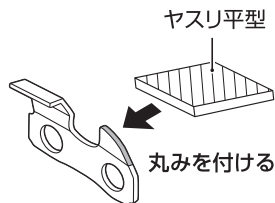
チェーン刃の目立て修正方法

- 1) 本機ガイドバーを基準に対して、図のように市販品のチェーンソーヤスリ4mmを傾け、ヤスリの直径の1/5程上刃より出るように本機のチェーン刃に当ててください。
- 2) チェーンソーヤスリ4mmを水平に保って、ヤスリを押し時だけ研磨し、手前に引くときはヤスリを刃に当てないようにして、上刃と横刃の目立てを行ってください。



デブスゲージの研磨方法

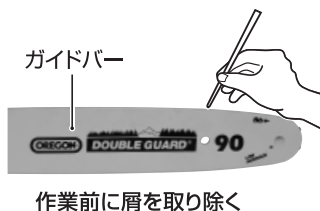
- デブスゲージはチェーン刃の切り込みしろを適正に保つためのものです。
- 市販品のヤスリ平型をご用意してください。
- 右図のデブスゲージの角に丸みを付けることです。



お手入れ・保管 チェーンの目立て

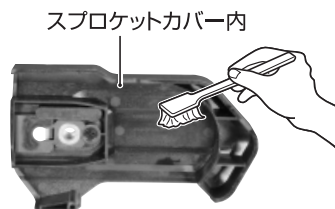
ガイドバーの清掃

- 使用中にガイドバーの凹部（溝部）に屑が入ってつまることがあります。切り屑がガイドバーにつまると、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなりますので作業前に点検を行ってください。
 - ・チェーン刃を外して細くガイドバー凹部にある屑を取り除いてください。
 - ・ガイドバー凹部等に傷や変形させないように丁寧に行ってください。



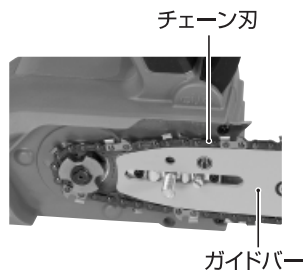
スプロケット内の清掃

- スプロケットカバー内に切り屑が溜まるとモーターに負荷がかかるので清掃を行ってください。
 - ①付属の2得レンチでナットを時計の逆回しでゆるめてください。
 - ②スプロケットカバーを外して、内側及び本機側をやりわらいブラシ等で切り屑を取り除いてください。



オイル吐出口の清掃

- 点検運転や作業中にガイドバー先よりオイルの吐出が無かったり、チェーン刃にオイルが回っていないときに行ってください。
 - ・使用中に切削屑や細かなゴミがオイル吐出口につまることがあります。
 - ③チェーン刃とガイドバーを外してください。
 - ④オイル吐出口のゴミを取り除いてください。



本機に電池パックを取付けてください。

- ⑤本機スイッチを入れ作動させて、オイル吐出口に溜まっているゴミを本機内備蓄のチェーンオイルで洗い流してください。
- ⑥電池パックを本機から取外してください。

※⑦ここまで終了際は、ガイドバーにチェーン刃を取付け、スプロケットカバーを取付け、2得レンチでナットを締めて作業は終了です。

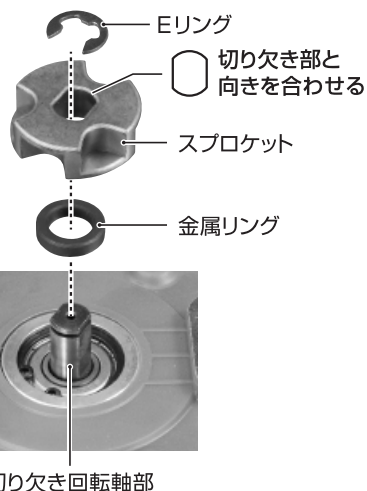
※⑦より次のスプロケットの交換の場合は⑥の状態から進めてください。



お手入れ・保管 チェーンの目立て

スプロケットの交換方法

- チェーン刃を交換するときは、同時にスプロケットも摩耗状態を確認してください。
- 右図のように摩耗している場合に交換をしてください。
 - ①スプロケット中央にあるEリングを市販品のマイナスドライバー等で  切り欠き部より取り除いてください。
 - ②スプロケットを取外してください。(引き抜く)
 - ③金属リングのUB18VCBL-SPK2、交換は不要です。
 - ④本機別売部品スプロケット品番: UB18VCBL-SPK1 を販売店にご用命ください。



本機を保管する場合

- ◎本機のスプロケットカバーを取外して、製品に付着した切り屑等をやわらかいブラシやエアにて取り除いてください。
- ◎ガイドバーにチェーン刃を取付けたまま、手袋をしている手でチェーン刃を回しながらガイドバー及びチェーン刃にオイルを付着させてください。
 - ※必ず素手でさわらないで、手袋を付けて行ってください。けがの原因になります。
- ◎本機スプロケットカバーを取付けて、付属の2得レンチでスプロケットロックナットを軽く締め込んでください。
- ◎チェーン刃の調整ボルトを2得レンチの一侧で調整を行ってください。調整が終わったらスプロケットカバーロックナットをしっかりと締め込んでください。
- ◎オイルタンクキャップを取外して、タンク内のオイルを抜いてください。
 - ※本機オイル満タン量は約40mlです。汚れても良い敷物を敷いて市販品容器に移してください。
- 不具合があった場合は、販売店にご相談ください。

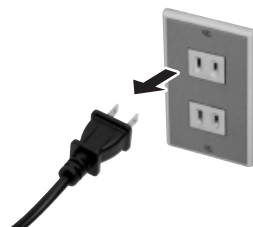
お手入れ・保管

⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換などのお手入れ前には、必ず電池パックを本機より取外して行ってください。
※不意に作動してけがのおそれがあります。
- 日頃の点検をおこない、保管場所が40℃以上になる場所での保管はしないでください。
※電池の寿命を損ねたり、使用できなくなることがあります。
- 本機、各部部品を子供の手の届かない場所に置いてください。
※子供が間違えて使用したり、飲み込んだりして事故やけがのおそれがあります。

お手入れのしかた

- 充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- やわらかい布でふく、濡れた布や、シンナー・アルコール・ベンジンなどの揮発性のものは使用しない。
- 本体や部品装着品のネジの緩みがないか確認する。緩みがある場合は、締め直してください。
※ネジの締め過ぎ、付属品等の無理な押し込み、収納は破損のおそれがあります。
- 油污れなどを拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石鹸水を付けた布をかたくしぼってから本機をふいてください。
※本機は防塵・防水ではありませんので、ゴミ・ホコリ・雨水等を侵入させないでください。
- 充電器や本機の通風口をやわらかいブラシ等で軽くゴミを取り除く。
- 充電器の接続端子や電池パックの接続端子のゴミをやわらかいブラシ等で取り除いてください。



付属品のお手入れ

- 各種アタッチメントは本体やケースなどに適正な保管場所が装備されていますが、簡易的な収納ですので作業環境によって邪魔になる場合や、紛失の可能性もありますので別途収納袋等に各自保管してください。
- 各種市販のアタッチメントは、材質や形状違い、長短・刃物形状違い等がありますので、摩耗状態などをよく確認して、無理な使用はしないでください。破損に注意して取付けや保管をお願いします。

保管のしかた

以下の条件を避けて保管してください。

- 車中などの高温になる場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 子供の手の届く場所。
- ゴミやホコリの多い場所。
- ガソリン・揮発性の高い引火物が有る場所。

故障かな?と思ったときに

修理を依頼される前に一度下記項目を点検してください。

○充電のとき

状 態	原 因	処 理
●充電器の通电赤LEDが点灯しない。 ●充電器の充電中、緑LED点滅にならず充電されない。 ●充電器が赤点滅LEDを表示して充電が開始されない。	●コンセントに通电されていない。 ●充電器と電池パックの接続がされていない。 ●電池が高温の為に充電されない。 ●作業後直後の熱い電池を充電した為。 ●電池が過放電状態になっていて充放電が出来ない状態です。	●別のコンセントで試してください。 ●奥までカチッと音がするまで差し込んでください。 ●電池パックを冷ましてから充電してください。 ●新品電池を別途お買い求めください。(販売店まで)

○作業のとき

●本機が動かない。 ●急に動かなくなった。 (電池は満充電なのに) ●オイルが漏れる。 ●切れない。 ●回転が上がらない。 ●作動時スイッチ部分からビーと異音がする。 ●フル充電しても作業時間が短くなった。	●電池パックが正常に本機に取付けられていない。 ●回転に過負荷な状態である。 ●ガイドバーにチェーン刃がはまっていない。 ●チェーン刃が張り過ぎている。 ●ハンドガードブレーキがロックされている。 ●オイル注入量が多すぎる。 ●チェーン刃の回転方向が違う。 ●チェーン刃が摩耗している。 ●電池電圧が少ない。 ●連続過負荷作業によって本機が熱くなって安全装置が働いている状態。 ●回転制御によるスイッチの電子音。 ●電池の劣化寿命が考えられます。 ●0℃以下に保管された状態。 ●電池電圧の低下。	●電池パックを奥まで差し込んでください。 ●過負荷の原因を取除いてください。 ●スプロケットカバーを外して組み直してください。 ●チェーン刃を適正な張り具合に調整してください。 ●ハンドガードブレーキを解除してください。P-21③、P-22④ ●オイルは40mℓ以内にする。 ●本機の回転方向に合わせてください。 ●目立てヤスリで研いでください。 ●電池パックを充電してください。 ●電池パック自体の残量表示を確認してください。 ●本機から電池パックを外して本体と電池パックを冷ましてからお試ください。 ●別の電池でお試ください。 ●故障ではありません。 ●電池を20℃環境で1時間程温めてください。 ●電池残量表示で確認してください。 ●新品電池を別途お買い求めください。
---	---	--

●上記記載されている処理をしても改善しないときは、本体・充電器・電池パックをセットで、販売店に修理の依頼をお申し付けください。

⚠ 警告

点検・整備の作業前には、必ずスイッチを切り、本機より電池パックを抜いてください。
※電池パックを本機に差し込んだまま行くと、事故やけがの原因になります。

仕様

●チェーンソー UB18VCBLBFS250

電動機	DC ブラシレスモーター	無負荷回転数	3800回転/分
電池パック	専用リチウムイオンバッテリー UB18VBP25/BP50	チェーンオイル タンク容量、給油方式	チェーンオイルタンク容量=60ml、 給油方式=自動
入力電圧	DC18V	本機寸法 (約)	長さ250×幅200×高さ195mm
1充電あたりの作業量 (2.5Ah電池パック使用時)	赤松材 150mm 角 16片	質量 (約)	1.90Kg (電池パック含まず)

⚠ 注意

オイルの注入時は本機を倒して注入する為、キャップ付近まで注ぐと、キャップを締め込む際にオイルがあふれ漏れる場合がありますので、ご注意ください。

●4A充電器 UB18VCG4A

入力電圧	単相交流100V			
入力周波数	50-60Hz			
入力容量	80VA (100W)			
電池パック充電端子	出力電圧	DC18V	出力電流	DC4A
本機寸法 (約)	長さ178×幅125×高さ78mm			
質量 (約)	0.58Kg			

●2.5A電池パック UB18VBP25

本機寸法 (約)	長さ118.5×幅76.4×高さ53.5mm
質量 (約)	0.39Kg

別売品仕様

●5.0A電池パック UB18VBP50

本機寸法 (約)	長さ119.9×幅76.5×高さ68.7mm
質量 (約)	0.65Kg

改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

充電器UB18VCG4A	電池パック	充電時間 (約)	使用後冷ました電池パック	UBシリーズ
//	UB18VBP25	約55分		18V全種 使用可能
//	UB18VBP50	約85分		

修理について

警告

- 保守、点検の際は、必ず電池パックを本機より取外してください。
※電池パックを取付けたまま行くと、不意に作動して事故の原因になります。
- 修理の際は、自分で分解・修理しないで、必ずお買い上げの販売店にお申し出ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金：基本料（修理検知）有料（商品によって異なります）
- ◎技 術 料：有料⇒診断・故障場所・修理・調整・修理後の点検作業、その他にかかる手間代、費用。
- ◎部 品 代：有料⇒修理に使用した部品・及びその他補助材料代です。
- ◎返送運賃：有料⇒最寄りの店舗までの商品返却代です。

販売元

株式会社 コメリ

新潟県新潟市南区清水4501-1

お客様問合せ窓口：Tel. 025-371-4805

MEMO

This image shows a full page of blank, lined paper. It features approximately 20 evenly spaced horizontal grey lines across its entire width, providing a template for handwriting practice or general note-taking. The margins are consistent on all sides.

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

